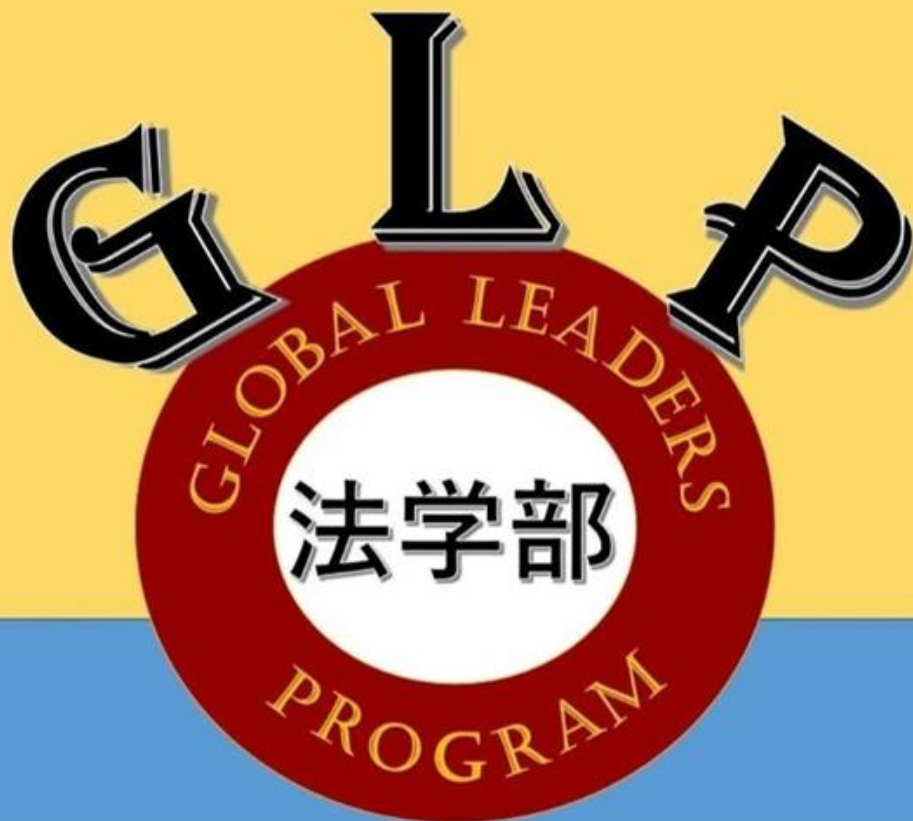




**SINCE
2017**

**法学部グローバル・リーダーズ・プログラム
第5期選抜クラス**

2020年度説明会資料

法学部GLPとは？

- グローバルに活躍する「高い専門性を持ちつつも、ジェネラリストとしてのリーダー」を育成することを目的とした特別教育プログラム
 - 1) 専門性：国際関係論と法律学の知識
 - 2) ジェネラリスト：社会科学の幅広い知識を備えた人材
 - 3) 日本語と英語での優れたコミュニケーション能力

法学部GLPの目的

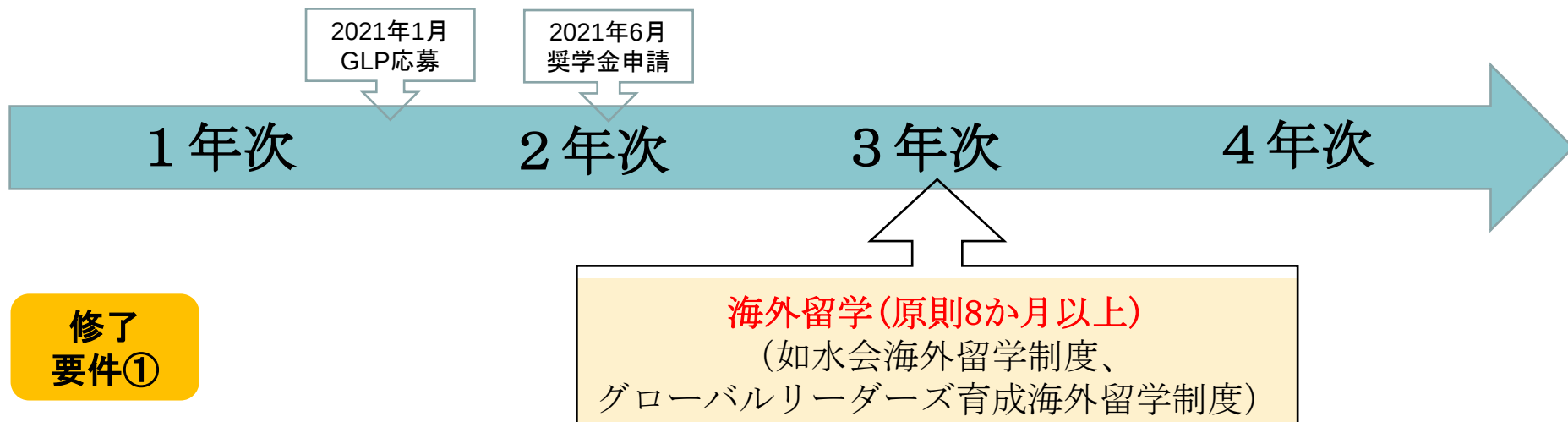
- グローバルに活躍できる人材の育成

- 批判的な思考能力
- 発信力（プレゼンテーション能力）
- 国際化の要請を反映した試み

⇒授業・カリキュラム自体の国際化

⇒「選抜クラス」を設置して、人材育成を徹底

GLPの修了要件



修了
要件②

修了
要件③

修了
要件④

以上の要件を満たすことで「法学部GLP修了証書」が授与されます。

修了
要件①

GLP選抜生の留学先

ハーバード大学

カリフォルニア大学

ミネソタ大学教養学部

SOAS 東洋アフリカ研究学院

マンチェスター大学

ブリティッシュコロンビア大学(カナダ)

パリ第1大学

パリ政治学院

ベルリンフンボルト大学(ドイツ)

ケルン大学(ドイツ)

ザンクト・ガレン大学(スイス)

オーストラリア国立大学

メルボルン大学

モナシュ大学

香港大学

清華大学

ソウル大学

* 原則として8か月以上の留学(如水会長期海外派遣留学制度を活用)。ただし、国費留学生などで8ヶ月以上の留学が困難な事情がある学生はGLP担当教員に相談してください。

GLPの修了要件

1 年次

2 年次

3 年次

4 年次

修了
要件①

海外留学(原則8か月以上)
(如水会海外留学制度、
グローバルリーダーズ育成海外留学制度)

修了
要件②

第1メジャー(20単位)： GLP指定科目および国際関係論・国際法(英語科目)

修了
要件③修了
要件④

以上の要件を満たすことで「法学部GLP修了証書」が授与されます。

修了
要件②

GLP指定科目の一例

以下の科目は、英語を中心とした外国語で開講されます。

科目区分	GLP指定科目
GLP Special Seminars	GLP Core Seminar GLP国際セミナー: ベルギー、韓国、英国、台湾・香港、中国
International Relations	Japan and International Relations, Global Governance, Foreign Policy, International Organization, Case Study in International Security 2, Case Study in International Political Economy 2, Culture of International Relations 1・2・3, Gender and IR, Managing the SDGs: SIGMA Global Active Learning
International/Diplomatic History	History of Chinese Foreign Relations, Political Diplomacy of South East Asia, Case Study in International History 2
International Law and Comparative Law	EU Law, Anglo-American Public Law, Anglo-American Private Law, Contemporary Issues in Anglo-American, Private Law and Globalization, Introduction to Japanese Law, Comparative Law <i>etc.</i>

修了
要件②

「GLP Core Seminar」



テーマ: Gender Equality、Terrorism、Climate Change and Environmental Problems、Immigration Policies in the World、Global Health、R2P and Humanitarian Intervention、death penalty etc.

修了
要件②

「GLP国際セミナー」



- 2019年度の例:「GLP国際セミナー(英国)」
 - 1) ケンブリッジ大学との合同ゼミ
 - 2) オクスフォード大学との合同ゼミ
 - 3) GLP学生には奨学金を支給

- 2018年度の例:「GLP国際セミナー(韓国)」

- 1) 3班に分かれて討論

- ・ 記憶の政治とパブリック・ディプロマシー
- ・ 東アジアのパワーシフトと米中葛藤における日本と韓半島の未来
- ・ 国際秩序の行方—自由貿易レジームの危機と通商摩擦

- 2) GLP学生には奨学金を支給



オンライン・アクティブ・ラーニング

修了
要件②

「Managing the SDGs: SIGMA Global Active Learning」

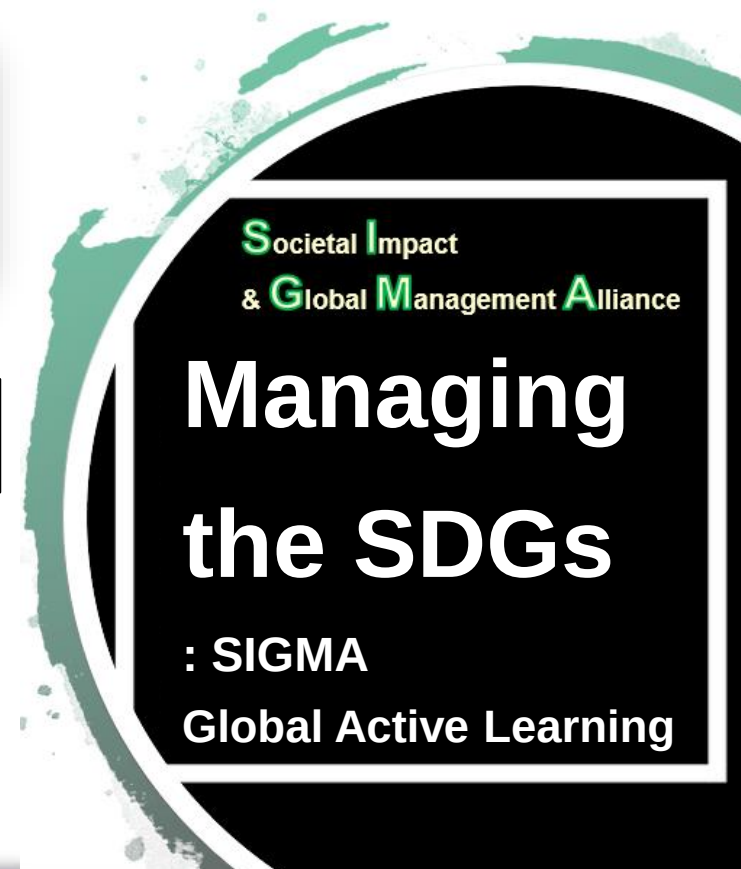
持続可能な世界を実現するため、我々に何ができるのか！？



Sustainable Development Goals

SDGs実施に向けた取組を考察する

「オンライン講義」





HOME > グローバル > SDGsをテーマに、第3期を迎えるSIGMAオンライン講義

SDGsをテーマに、第3期を迎えるSIGMAオンライン講義

GLOBAL REPORT

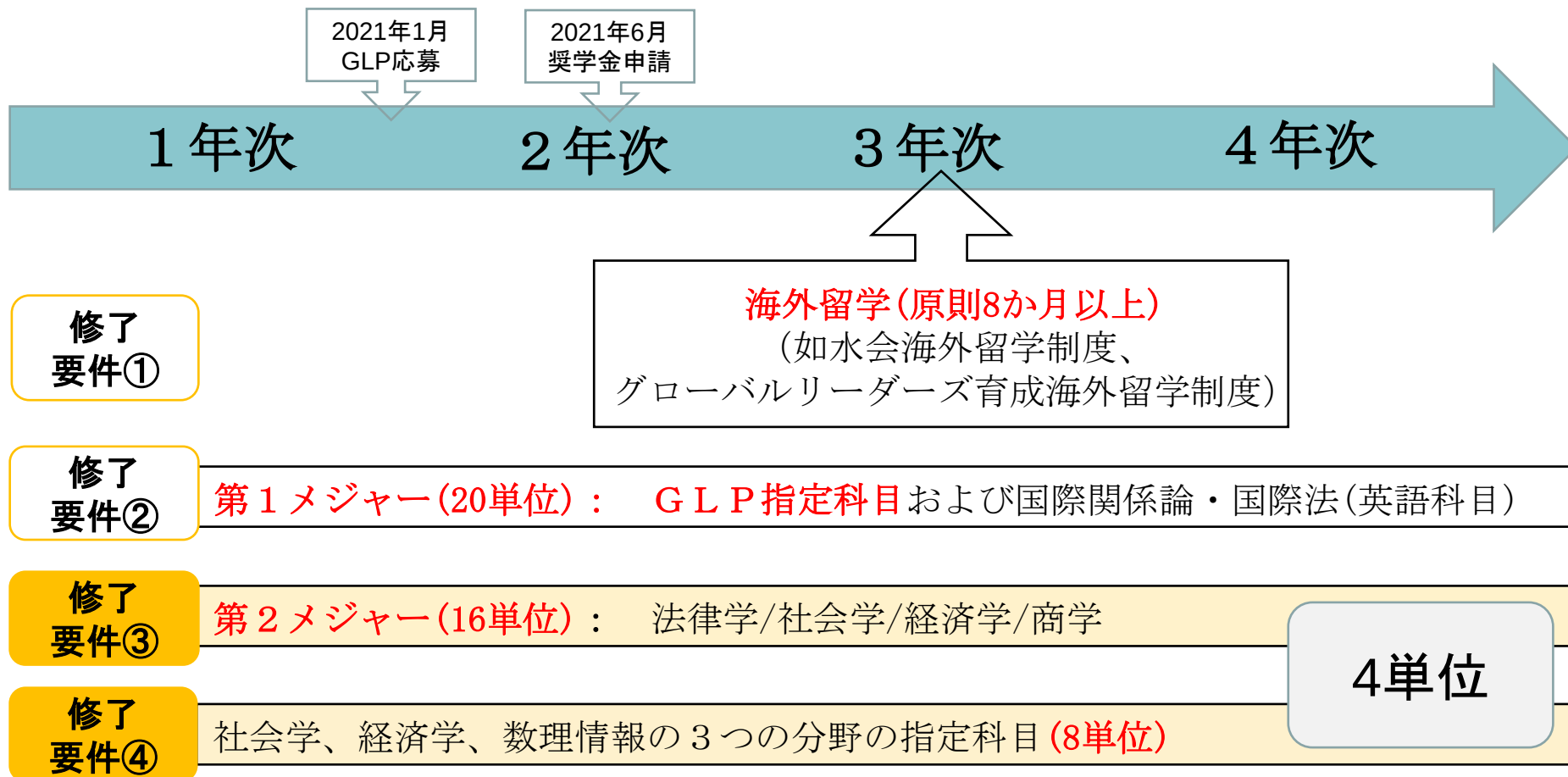


2020年6月22日 掲載

一橋大学は2019年度より、グローバルな大学連携『SIGMA』が開催するオンライン・アクティブ・ラーニングのメンバーとなった。初年度は16人の一橋大学生が参加。SDGsをテーマに、海外の学生と4人一組のチームを組み、ショートビデオの共同作成を行った。

HQでは、SIGMAが開催したオンライン講義の内容と、その講義に一橋大学生がどのように向き合い、成果を出していったかをレポートする。また、別稿ではショートビデオで優秀賞を獲得した法学部生のコメントも併せて紹介する。

GLPの修了要件



44単位 (最小で40単位)

以上の要件を満たすことで「法学部GLP修了証書」が授与されます。

GLP選抜クラス参加のメリット

- 1) 専門的な科目の多くを英語で履修可能
- 2) 少人数の双方向での授業
- 3) 海外トップの大学との合同ゼミに優先的に参加可能
- 4) 海外留学に向けての手厚い支援
- 5) 海外経験豊富な教員によるアカデミックサポート

選抜方法

1) 選抜人員：10名程度

2) 応募対象：

- 2021年1月時点で法学部1年次に在籍
- 留学生は、GLP修了要件を満たすことが可能か確認してください

3) 選考の方法：

- 書類選考と面接の結果を総合して選抜者を決定
- **志望理由・やる気を重視して選考します！**



法学部 大学院 研究活動 教員紹介 卒業生・修了生の方 報告書等

ホーム > 法学部 > 法学部グローバル・リーダーズ・プログラム

法学部

> 法学研究科長の挨拶

> カリキュラム

> 学部・大学院5年一貫プログラム

> 法学部グローバル・リーダーズ・プログラム

> 概要

> お知らせ

> 「GLP国際セミナー」

> キャンパスライフ

> 卒業生の進路

> リンク集

法学部グローバル・リーダーズ・プログラム

一橋大学法学部では、グローバルに活躍する人材の育成を目的とし、法学部「グローバル・リーダーズ・プログラム（GLP）」を2017年度から開始しました。

法学部GLPは、法律学・国際関係学の多くの専門科目を英語で提供すると同時に、海外大学との合同ゼミや海外留学などを効果的に組み合わせた学習の機会を提供します。1年次終了時に選抜されたGLP学生には、同プログラムが定める単位を修得することにより、プログラム修了証が授与されます。

法学部GLP修了生は、自身の専門性のみならず人文・社会科学の幅広い素養を身に寄けるので、卒業後は国際機関・NGO・法曹界・学術界・ジャーナリズム・グローバル企業などで活躍することが期待されます。



> 概要



> お知らせ



> 「GLP国際セミナー」



2019年度一橋大学法学部 「グローバル・リーダーズ・プログラム選抜クラス」 参加願

受験番号	※記入しないこと
------	----------

氏名	アフリ			
	自国語表記			
	ローマ字表記	Family name	First	Middle
学籍番号		性別	口男	口女
生年月日	年 月 日	年齢		才
国籍		留学生区分	口国地 口私地 ()	
現住所	〒			
電話番号		メールアドレス		
学歴 (※学校から もれなく記入 すること。)	在学期間 (西暦)		学校名 (所在地)	
	年 月/入学 年 月/卒業			
外国語に関する 試験・ 検定等 (※試験・検定 の名称・レベル ・スコアを記入 すること。)	試験・検定等の名称 (TOEFL, TOEIC, 英検, 仏検, 中検など)		級・スコア等	受験時期 (西暦)
				年 月
				年 月
資格・ 受賞歴・ 経験など				

見本

志を同じくする仲間と出会い、先生方の思いにふれ、 自分の将来を描くことができました

私がGLPIに応募した理由は、「同じ志を持つ仲間と出会いたい」と思ったからです。法学部は小規模とはいえ、170名の学生がいます。その中で、国際関係について深く学びたい、留学をしたいと考える仲間と出会う場が欲しかったのです。

そして、実際にGLPIには好奇心旺盛で問題意識の高い学生が集まっています。要求水準が高く、ハードなことで知られるゼミに自ら進んで入り、関心のあるトピックについてしっかり自分の意見を持っているような学生ばかりでした。

出会えたのは、GLP生だけではなく、「GLP国際セミナー」という授業でケンブリッジ大学の学生と交流する機会がありました。彼・彼女らは、日本人である私たち以上に日本のことをよく知っていて、その勉強量には驚かされました。

また、先生方との距離が縮まることも、GLPの魅力の一つです。留学先に提出する推薦書を書いていただくため、それまで足を踏み入れたことのなかった先生方の研究室に伺い、普段の授業では聴くことのできない先生方の思い

が聞けましたのも、私にとっては大きな収穫でした。



室田 茉悠花さん
(アメリカ・ハーバード大学留学)

HQ記事

https://www.hit-u.ac.jp/hq-mag/global_report/384_20200629/

■ お互いの納得感を大事にする、欧米流のグループワークを学んだ



一橋大学 法学部3年生 大原 有貴さん

■ 自分の視野を広げ、選択肢をたくさん持つておくために

SIGMAに参加したのは、自分の視野を広げ、選択肢をたくさん持つておこうと考えたからです。

私はもともと、自分の視野を広げることを意識してきました。高校時代の専攻は理数科で、「科学の甲子園」全国大会にも参加しました。しかし科学一辺倒になるのではなく、法学、倫理学など社会科学の知見も蓄積したいと思い、一橋大学への進学を目指しました。入学後も幅広い分野の履修を意識し、経済学を副専攻として履修しながら統計学の学習にも励んでいます。

また、英検一級に合格し、英語にも興味があったので、国際関係学の講義を中心に履修を組み、2年次には英語により開講される講義も積極的に履修しました。1年生の夏休み、春休み、そして2年生の春休みに語学研修や海外研修にも参加。2年生からはGLPがスタートし、海外で行われる国際セミナーに参加する過程で、オンラインでグループワークを体験できるSIGMAの講義に興味を持ち、応募しました。

■ チーム内最年少、非ビジネスメジャーという立場を逆に利用

グループワークが始まった当初は、戸惑うこともありましたが、

ハーバード大学、スタンフォード大学、ウィーン経済大学、ザンクト・ガレン大学の学生、または大学院生、ビジネスメジャー（専攻）ならではの知見を持っている人た

問い合わせ先

- 問い合わせ先 (Email)

glp-office@law.hit-u.ac.jp

- GLPページ (法学部Web内)

<http://www.law.hit-u.ac.jp/faculty/glp/>

